

ワールドカフェ
ふじみ野市の未来政策を
みんなで考えよう

21世紀型タウンミーティング

アメリカでは、1990年代後半から、ミーティングの中に地域の縮図（人種、性別、年齢、職業等の軸から）を創り、市民が公共の意思決定に参加するための機会をつくり出す、「21世紀型タウンミーティング」という大規模な市民参加の話し合いの場が各地で行なわれています。

例えば、2002年ニューヨークで開催されたタウンミーティングには4,300人を越える市民が参加し、テロ被害を受けたワールド・トレード・センター跡地の周辺をいかに再開発していくかについて、皆が話し合いを行い、その結果が当時のニューヨーク州知事に提言され、再開発に大きな影響を与えました。

日本においては、市民参加を実現していく上で、特定の人のみが参加するのではなく、まちづくりに関心がない人も含めて、多様な人々の参加をいかに即していくかが大きな課題となっています。

ワールド・カフェとは

ワールド・カフェは、1995年にアメリカで開発された、「知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発される」という考え方に基づいた話し合いの手法で、世界中に普及し、ビジネスはもちろん、NPOや市民活動、政治、教育等、様々な分野で活用が進んでいます。

社会変化の速度が加速し、社会環境の変化は激しくなると共に、複雑化してきた事で、これまでの様に、単純化した1つの目的のために、組織が1つの考えに基づきトップダウンで課題に取り組めば解決していくという時代ではなくなりました。複雑化した難題を乗り越えるためには、個人の力や知恵でなく、組織に所属する人々の知恵を集合知として共有、連動、発展させて考えていく事が求められています。

話し合いの中で良いアイデアが浮かんだり、発見したりするのは、フォーマルな会議ではなく、休憩室での雑談中や、居酒屋でお酒を飲んでいる時だったりするものです。こうしたリラックスして、オープンに本音を語る事ができるインフォーマルで「カフェ的」な話し合いの場を提供する方法として、世界中で、このワールド・カフェが用いられています。

GRIP

●Goal (ゴール)

テーマについて、市民の皆さんのニーズを共有し、将来の解決策に結びつくアイデアを出してもらいます。

●Role (ロール、役割)

みなさんには、一市民として考えてもらうと共に、市全体の価値を高めるためには、どうする事が良いのか、また、他の市民にとってはどうか、という立場からも考えて、アイデアや意見、論点を出してもらいます。

●Impact (インパクト、話し合いの背景)

いよいよ今日から未来政策研究会（スクラム in ふじみ野）が始まります。具体的に検討していくにあたり、意識の共有、目的・方向性の共有、ふじみ野の課題の共有をしてもらいたいという考えから実施しました。

●Process (プロセス、進め方)

ワールド・カフェの手法を用いて、インフォーマルなカフェのような雰囲気、参加者全員が主体となり、楽しみながら、対話をするように進めていきます。

チェックイン

「今の正直な気持ち」や
「気になっていること」などを
一言、1分以内でお話し下さい

テーブルのメンバー全員のチェックイン
が終わったら、全員で手を挙げて下さい。

テーマ

旧県立福岡高校跡地を最大限に
利用した「子育て・健康・医
療・介護・福祉」等の
複合的な活用について考えよう。

話し合いのマナー

1. 対等で自由な立場で参加する
2. すべての人が話し、
すべての人の話を聴く
3. 思っていることを素直に話す
4. 自分の考えに固執しない
5. みんなのために時間を守る
6. 楽しみながら進める

進め方 テーマについて3ラウンドの話し合いを行ないます。

個人検討（5分程度）：

- アイデアや頭の中にあることを「見える化」する。
 - 「旧福岡高校を何に使うべきか」
「ふじみ野に必要なもの、必要な政策」を
思いついたものからポストイットに記入して下さい。
 - メンバーで共有して議論するため、思いついた
ものは、一言ずつドンドンとポストイットに書いて
「見える化」して行ってください。

進め方2

ラウンド1（20分程度）：

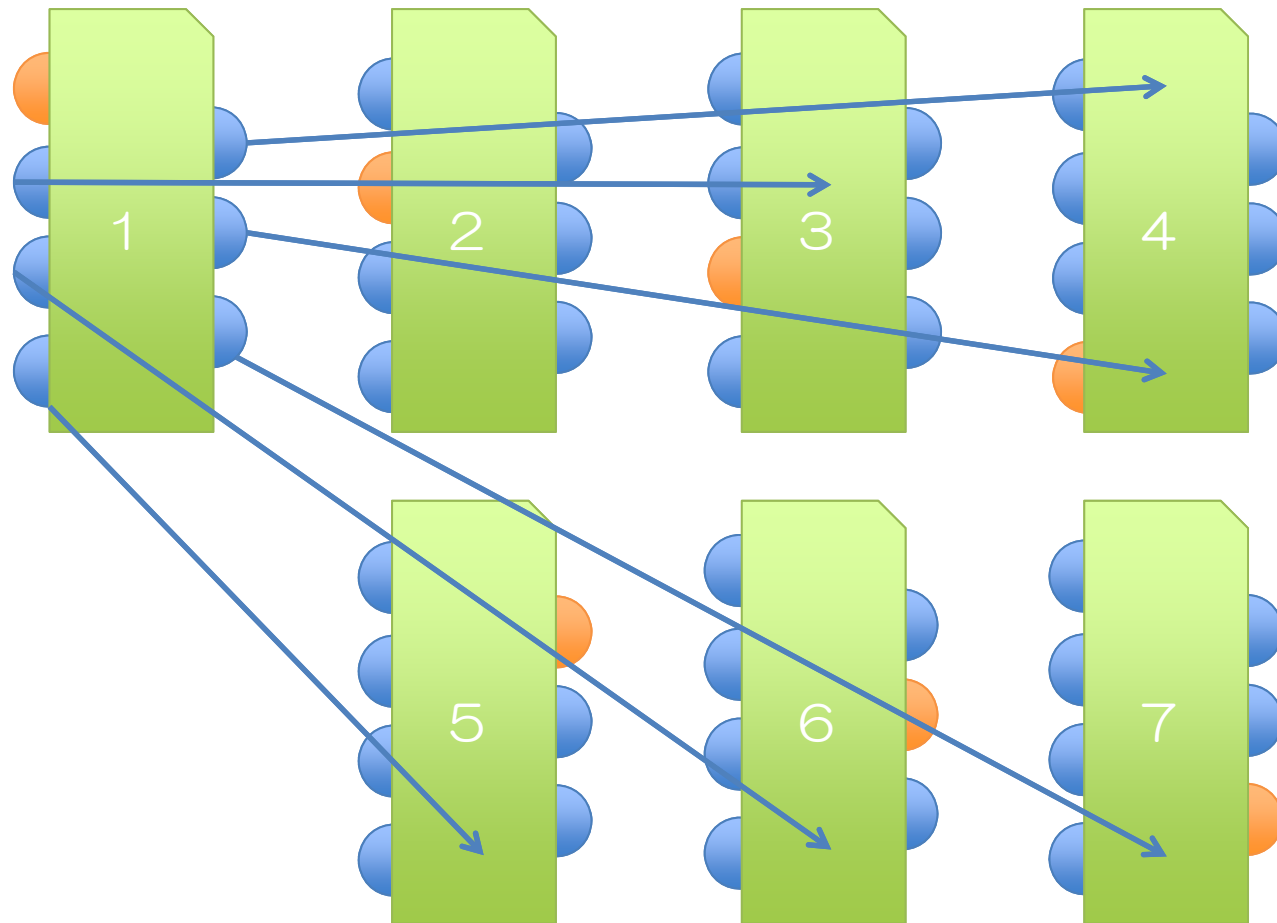
- それぞれのアイデアや意見を共有する。
 - 個人で書いたポストイットを一人ずつ模造紙に貼りながら全員に共有し、改めてグループのみんなで話し合います。

進め方3

ラウンド2（15分程度）：

● アイデアを結びつける

- ラウンド1のグループの中で、一人「留守番」を決めて、その人は同じグループに残ります。
- 留守番以外の方は、他のグループに移ります。
- 留守番は、ラウンド1でどんな話があったかを、そのテーブルに来てくれた人と共有し、それを聞いた方も意見を述べて、話し合いを深めます。
- ポストイットを貼り直したり、新たに書き加えて、各グループのアイデアを結びつけて、多様な視点から話し合えるようにします。



進め方4

ラウンド3（15分程度）：

●気づき・発見を統合する。

- ラウンド1のテーブルに戻り、ラウンド1、2で得られた発見や気づきを共有し、話し合いを深めます。
- グループでの話し合いを踏まえて、グループの案を模造紙にまとめてください。この際、案を必ずしも1つにしなくても構いません。

テーマ

旧県立福岡高校跡地を最大限に
利用した「子育て・健康・医
療・介護・福祉」等の
複合的な活用について考えよう。

ラウンド1（20分程度）

ラウンド2（15分程度）

ラウンド3（15分程度）

チェックアウト

「今の正直な気持ち」や
「気になっていること」などを
一言、1分以内でお話し下さい

最後に、今日の話し合いを踏まえて、
自分だったらこうするという政策のアイデア、
今後検討していくに当たってのポイントなどを
ポストイットに記入して、出口で貼って帰って下さい。